学校法人　食糧学院
東京栄養食糧専門学校

令和 7 年度　学校情報の公表

学校法人食糧学院　東京栄養食糧専門学校は、令和 7 年度学校情報について、以下の通り報告いたします。

学校の概要

【学校名】	東京栄養食糧専門学校	
【校長名】	渡邊　智子	
【所在地】	〒154-8544　東京都世田谷区池尻 2-23-11	
【連絡先】	TEL 03-3424-9113	
【沿革・歴史】	昭和 14 年	東京市本郷区真砂町に「食糧学校」開校
	昭和 21 年	現校地に財団法人食糧学校として開校
	昭和 22 年	一年制栄養士養成施設として指定
	昭和 26 年	二年制栄養士養成施設として指定
	昭和 28 年 7 月	学校法人食糧学院設立 （財団法人を学校法人に改める）
	昭和 32 年	校名を東京栄養食糧学校と改める
	昭和 51 年	校名を東京栄養食糧専門学校に改める
	平成 12 年	シドニーオリンピックへ教職員・学生派遣
	平成 15 年 4 月	管理栄養士科（四年制）を開設
	平成 16 年	栄養教諭養成校として許可される （栄養教諭　一種、二種）
	平成 16 年	アテネオリンピックへ教職員・学生派遣
	平成 21 年 4 月	食糧学院創立 70 周年を迎える
	平成 27 年	職業実践専門課程として認可される
	平成 29 年	教育訓練給付制度の講座として指定 栄養士科（二年制）
	平成 30 年	教育訓練給付制度の講座として指定 管理栄養士科（四年制）
	平成 31 年 4 月	食糧学院創立 80 周年を迎える
	平成 31 年 4 月	健康スイーツ研究科（一年制）を開設
	令和 3 年	東京オリンピックへ教職員・学生派遣
	令和 3 年 9 月	放送大学との提携

学校の教育目標及び授業計画等

【教育目標及び方針、特長】	本校は、「専門教育に誇りを持ち、社会から信頼される教育機関を目指すと共に社会から高い評価を得られる学術・技能に優れた人材の育成に努める」ことを教育の理念・目標に掲げ、社会に貢献できる栄養士・管理栄養士の育成に努めている。具体的には、「栄養士・管理栄養士が持つべく基本的スキルである調理技術や身体状況に見合う献立作成技術の習得、更には栄養指導、栄養教育に不可欠な他人を思いやる豊かな人間性を身に付けること」である。そのために、グループワークをはじめとした参加型授業形態（演習・実験・実習等）を多く取り入れ、自然の形でそれらが身に付くようなオリジナリティーに富むカリキュラムを構築している。そして、「人間・食・栄養・健康」に関して、「創造と科学と実践の教育」を強化し、多岐にわたり、かつ高度になる社会的要望に応えられる骨太の栄養士・管理栄養士を以下の方針に沿って養成し、職業人養成校として信頼と実績のある本校の新しい歴史を築き上げていきたいと考えている。 1. 現場に即応できる実践力を有する職業人の育成 2. 「食と健康と美の未来を担う」スペシャリストの養成 3. チームワークとボランティア精神の育成 4. 栄養教諭、介護職員初任者研修、フードアナリストなどマルチライセンス取得の推奨
【授業計画】	各コースの特色、カリキュラム・授業紹介をご参照ください。 1. 栄養士科 2. 管理栄養士科 3. 健康スイーツ研究科
【学事計画】	キャンパスライフをご参照ください。

各学科等の教育

【入学者に関する受入れ方針及び入学者数、在学学生数】	1.入学者に関する受け入れ方針 a. 社会全般に貢献する意思がある方 b. 礼儀をわきまえ、人との関わりを大切にする方 c. 探究心にあふれ、未知のものにチャレンジする意欲のある方 d. 向上心が強く、努力を惜しまない方 2.入学者数（令和 7 年度入学生） 栄養士科 93 名 管理栄養士科 40 名 健康スイーツ研究科 2 名 3.在学学生数（令和 7 年 5 月 1 日現在） 栄養士科 198 名 管理栄養士科 234 名 健康スイーツ研究科 2 名
【教育内容】	各コース基本情報をご参照ください。 1. 栄養士科 2. 管理栄養士科 3. 健康スイーツ研究科

【進級・卒業の要件等】	1. 栄養士科 ・進級・卒業査定会議で認定された者を進級及び卒業とする。 ・卒業に必要な単位数は 77 単位である。 2. 管理栄養士科 ・進級・卒業査定会議で認定された者を進級及び卒業とする。 ・卒業に必要な単位数は 162 単位である。 3. 健康スイーツ研究科 ・進級・卒業査定会議で認定された者を進級及び卒業とする。 ・卒業に必要な単位数は 30 単位である。
【取得する資格・検定等】	1. 栄養士科 栄養士免許、栄養教諭二種免許、介護職員初任者研修、食育栄養インストラクター、フードアナリスト 4 級、ハーブ検定、公務員対策講座 2. 管理栄養士科 栄養士免許、管理栄養士国家試験受験資格、栄養教諭一種免許、介護職員初任者研修、食育栄養インストラクター、フードアナリスト 4 級、ハーブ検定、公務員対策講座 3. 健康スイーツ研究科 ハーブ検定
【資格取得・検定試験合格等の実績】	令和 7 年度実績 栄養士免許取得者 163 名 管理栄養士国家試験合格者 44 名 栄養教諭一種免許取得者 4 名 栄養教諭二種免許取得者 15 名 介護職員初任者研修修了者 9 名 食育栄養インストラクター取得者 112 名 ハーブ検定取得者 6 名
【卒業者数・卒業後の進路】	1.栄養士科 令和 7 年度卒業者数 90 名 進路決定者数 64 名（就職希望者数 66 名　就職率 97.0%） 【卒業後の進路】 直営病院、受託給食会社、子ども福祉施設、高齢者福祉施設、 薬局・美容関係、学校、ホテル・レストラン、食品関連企業、スポーツ企業、 公務員、その他 2.管理栄養士科 令和 7 年度卒業者数 68 名 進路決定者数 55 名（就職希望者数 55 名　就職率 100.0%） 【卒業後の進路】 直営病院、受託給食会社、子ども福祉施設、高齢者福祉施設、 その他福祉施設、薬局・美容関係、スポーツ企業、その他

教員数

【教員数】	常勤 41 人 非常勤 51 人
【教員の組織】	校長、教員、助手、事務職員、学校医
【教員の専門性】	医学博士、農学博士、理学博士、博士（学術）、博士（医科学）、博士（食品栄養学）、教育学修士、修士（スポーツ科学）、修士（家政学）、修士（学術）、修士（医療栄養学）、医師、管理栄養士、栄養士、専門調理師、調理師、健康運動指導士、スクールカウンセラー

キャリア教育・実践的職業教育

【キャリア教育への取組状況】	1.キャリア支援担当者を設けている。 2.キャリアデザイン講座を開講している。開講時期は栄養士科 1 年後期、管理栄養士科は 3 年後期である。 3.学内に企業の方を招き、学内企業説明会を年 2 回実施している。
【実習・実技等の取組状況】	1.法定基準より多くの単位（時間数）を実施している。 2.調理学実習では、まず基本調理（包丁、まな板、鍋、フライパン等の扱い方等）を学習した後、専門教員から和・洋・中の各調理を学ぶ。実技試験を実施し評価している。
【就職支援等への取組状況】	進路指導室を設け、就職先の紹介、面接・履歴書指導等を個別で行うと共に、就職ガイダンスや学内企業説明会の企画を行う。

様々な教育活動・教育環境

【学校行事への取組状況】

令和7年度学校行事計画

4 月	入学式／オリエンテーション／健康診断
5 月	新入生親睦会（栄養士科1年、管理栄養士科1年、健康スイーツ研究科1年）／学外実習指導（栄養士科 2 年）／防災避難訓練／保護者会
6 月	学外実習指導（栄養士科 2 年）／体育祭
7 月	学外実習（栄養士科 2 年）／前期定期試験
8 月	前期定期試験／夏季休暇／事業所学外実習（管理栄養士科3年）／包括的計画論演（管理栄養士科 4 年）
9 月	夏季休暇／前期定期試験（栄養士科）／事業所学外実習（管理栄養士科3年）／学外実習報告会（栄養士科2年）
10 月	防災避難訓練／事業所学外実習報告会（管理栄養士科3年）
11 月	食糧祭／卒業研究発表会（管理栄養士科4年）／試食研修／企業研究会
12 月	冬季休暇／全国栄養士実力認定試験（栄養士科2年、管理栄養士科3年）
1 月	病院学外実習（管理栄養士科3年）
2 月	後期定期試験／試食研修
3 月	卒業式／病院学外実習報告会（管理栄養士科3年）

【課外活動】	**クラブ活動** ハイキング部／アスリートサポートチーム／軽音楽部／筋力トレーニング部／食品分析クラブ／茶道部／日本料理研究会／和文化茶論／食品成分表研究会／食育応援隊／駒澤大学陸上競技部応援隊／産学コラボ研究会など様々なクラブ活動を行っている。 **社会貢献及び地域貢献活動** 産学コラボ／地域への食育活動／スキルアップアカデミー講座／長寿健康ベターエイジング研究所主催の各種セミナー・講演会等／東京都食育フェア

学生への生活支援

【学生支援への取組状況】	1. クラス担任制で個別相談に対応している。 2. 専任カウンセラーに個別相談ができる環境を整えている。 3. キャリアアップを視野に就職進路課にてアルバイトの紹介をしている。 4. その他（住居等の支援） ・自立通学社員制度：提携先企業で勤務しながら、提携先企業の社員寮を低価格で借りることができる ・提携学生寮の紹介

学生納付金・就学支援

【学生納付金の取扱い】	原則は全納だが、分納制度あり。
【活用できる経済的支援措置の内容等】	1. 特待生制度 2. 部活動特待生制度 3. 教育後援会奨学金制度 4. 学友会奨学金制度 5. 資格取得者支援制度 6. キャリア支援制度 7. 紹介者推薦制度 8. 日本学生支援機構奨学金制度 9. 東京都育英資金貸付制度 10.スキルアッププログラム　　など

学校の財務

【学校財務の状況等】	事業計画に基づく予算編成を行っており、財務基盤、予算収支計画、監査に関して特に問題はない。

学校評価

【自己評価・学校関係者評価の結果】	自己点検・自己評価を実施するとともに、学校関係者評価委員会を年 2 回開催し、その結果を公表している。（別紙参照）
【評価結果を踏まえた改善方策】	学校の特色や強みをアピールするとともに、優れた教育制度やその成果の情報発信に努めていく。また、外部委員を設けることによって、第三者から評価を得ることができ、さらなる幅広い視点から改善を行っていくことができる。